

慶應義塾大学と花王株式会社の共同プロジェクト  
家族の多様なあり方・暮らし方を言語化した  
『家族を育むスタイル・ランゲージ』を制作  
- ORF2017 で 11 月 23 日に発表 -

慶應義塾大学 井庭崇研究室と花王株式会社 生活者研究センターは、いろいろな家族のあり方・暮らし方を言語化した『家族を育むスタイル・ランゲージ』を制作しました。

『家族を育むスタイル・ランゲージ』は、食事のときのこと、週末の過ごし方、家庭内のルールなど、家族の多様なあり方・暮らし方をまとめた言葉たちです。300を超える多様なスタイル・ワードを眺めていると、自分たちもやってみてみたいと思うものばかりです。普段は知ることが難しい他の家族のスタイルを知ることで、自分たちなりの「日々の世界」をつくるためのヒントにすることができます。また、これらの言葉は、家族のあり方・暮らし方を語り合うための新しいメディアとして用いることもできます。

本成果『家族を育むスタイル・ランゲージ』は、11月23日（木・祝）に東京ミッドタウンで開催される「慶應義塾大学 SFC Open Research Forum 2017 (ORF2017)」にて発表し、それを用いた対話のワークショップも実施します。ぜひご紹介・ご取材ください。

## □ 『家族を育むスタイル・ランゲージ』とは

人の個性がそれぞれであるように、家族のあり方もそれぞれです。食事のときのこと、週末の過ごし方、家庭内のルールなど、自分の家族以外のことは、意外と知らないものです。しかし、もっと多様なスタイルに触れてみることで、家族のあり方をさらに豊かにし、自分たちらしく育てていくことができるのではないのでしょうか。そのような考えのもと、慶應義塾大学 井庭崇研究室と花王株式会社 生活者研究センターは共同で、多様な家族のスタイルを言語化した『家族を育むスタイル・ランゲージ』を制作しました。

今回制作したのは、390のスタイルを言語化したスタイル・ワードと、それを表現したスタイル・カードです。これらは、約130の家族からインタビューして得られた600以上の情報から、集約・取捨選択のプロセスを経てまとめられました。個々のカードには、家族のあり方・暮らし方のスタイルを魅力的に表した言葉（スタイル・ワード）と、その紹介文が書かれており、さらにイメージの写真が添えられています。

これらのカードを眺めることで、普段は知ることが難しい他の家族のスタイルを知ることができ、自分たちなりの「日々の世界」をつくるためのヒントにすることができます。また、このカードを見ながら、他の人と自分たちの家族のスタイルや、これから取り入れてみたいことについて語り合うことができます。

スタイル・ワードには、例えば、以下のようなものがあります。

## スタイル・カードの例（390のうちの9つ）



「**パパ・パンケーキ**」… 毎週日曜日の朝は、父がパンケーキをつくってくれた。普段は料理をする人ではなかったけれど、いつもかわいい形になるように工夫してくれていた。そのため日曜日の朝は、どことなく特別だった。【小さな楽しみ】

「**同性会**」… 家族が4人集まっている日でも、男女で分かれてご飯に行く時がある。男組はラーメンで、女組はイタリアンと分かれる。同性だからこそ、お互いのリアルな相談をできる良い時間。【家族時間】

「**20時の顔合わせ**」… 夕食を家族全員で食べていた。時間も必ず20時と決めていた。その時間には家族が揃うようにみんなが予定を組んでいたため、家族全員が顔を合わせないということがなかった。【家族時間】

「**祖父に弟子入り**」… 祖父はアウトドアが大好きで、よく船に乗せてもらい、釣りに行ったり、釣った魚の捌き方を教えてもらったりしていた。今考えると結構危ないこともしていたと思うが、危険を排除しながら全力で楽しむことを教わった。【好きの拡散】

「**世界制覇マップ**」… リビングにある大きな世界地図に、家族で行ったところ、誰かが行ったところを色で分けて画鋲をさしている。幼い頃から、父は出張でしょっちゅう海外に行っていたが、「お父さんは世界制覇マップを広げている！」と思うと寂しくなかった。【家族プロジェクト】

「**寝坊防止作戦**」… 朝の起床時間と家を出る時間はみんなに共有する。寝坊しないようにするため、みんなで協力して起こし合うので遅刻が減るし、一体感も生まれた。【家族の世界】

「**ママ感謝デー**」… 家族が全員集まった日には、母親には家事をしないでもらう。母親以外のみんなでご飯を用意するなどして、手分けして家事をこなす。みんなが母親の大変さを理解することで、さらに感謝するようになった。【感謝のきっかけ】

「**我が家大賞**」… 年末にそれぞれ家族内の今年の〇〇アワードを発表している。普段伝える機会がないからこそ、日頃の感謝を伝えるいい機会だし、とても盛り上がる。またみんなが案外自分のことをよく見てくれていてうれしくなる。【感謝のきっかけ】

「**思い出巡礼**」… 長期休みになると、フランスや箱根など、過去に住んでいた場所や思い出の地に足を運ぶ。そしてその地で、家族で住んでいた時の出来事や思い出を振り返る。【思い出の残し方】

## スタイル・ワードの14のテーマ



個々のスタイルは、その内容に合わせて14のテーマで束ねられています。テーマには、家族の取り決めやルーティン、文化を表す「家族の世界」、よりたくさんのお話を生み出す秘訣を集めた「会話の種まき」、趣味や好きなことから会話につなげるスタイルからなる「好きの拡散」などがあります。

### □ 多様性を重視・支援するためのランゲージ

『家族を育むスタイル・ランゲージ』では、家族のあり方・暮らし方の多様性を大切にしています。今回まとめたスタイルは、多様なあり方についての可能な例を示しているだけで、皆がこの通りにやらなければならないものではありません。また、390のスタイルのすべてを把握する必要もありません。今回まとめられたものだけが家族のスタイルのすべてではなく、多様なスタイルの一部を可視化したものなのです。

しかしながら、家族ごとに「多様である」ということは、「とりとめがなく、不透明でわかりにくい」ということにもなりかねません。そこで、スタイル・ランゲージでは、多様なスタイルを表現し、それらを垣間見ることができるようするために制作されました。このスタイル・ランゲージが、多くの方々が自分たちなりの家族をつくり、「日々の世界」をつくっていくための支援になると、私たちは考えています。

このように、『家族を育むスタイル・ランゲージ』は、ある方向に収斂させるためのメディアではなく、多様性を重視し、増長させるメディアなのです。さまざまなスタイルを表す言葉があることで、自分では思いつかないようなスタイルを知ることができるとともに、自らのスタイルを語りやすくなります。さらに、ここにはない自分たちのスタイルを捉え、新たに加えていくこともできます。『家族を育むスタイル・ランゲージ』は、絶えず未完のオープン・エンドなランゲージなのです。

### □ 『家族を育むスタイル・ランゲージ』の発表と体験の機会

『家族を育むスタイル・ランゲージ』は、11月23日(木・祝)に東京ミッドタウンで開催される慶應義塾大学SFC Open Research Forum 2017 (ORF2017)内のセッションにて発表・ワークショップを行います。

日時：2017年11月23日(木・祝) 13:00~14:30

場所：東京ミッドタウン・タワー4階カンファレンス Room 7

SS-03「<花王株式会社スポンサーセッション> 家族を育むスタイル・ランゲージ - 日々の世界のつくりかた」

詳細：<https://orf.sfc.keio.ac.jp/2017/session/ss-03/>

※入場無料・事前登録不要です。SFC Open Research Forum 2017 (ORF2017)については、<https://orf.sfc.keio.ac.jp/2017/> をご覧ください。

## 日本プロジェクトについて

本プロジェクトは、慶應義塾大学 井庭崇研究室と花王株式会社 生活者研究センター JJP(ジョシジョブプロジェクト)による共同研究プロジェクトです。井庭崇 慶應義塾大学総合政策学部准教授とその研究室の大学生、および花王株式会社生活者研究センター(センター長 宮川聖子)の研究者により構成され、2016年4月に始動しました。これまで、パターン・ランゲージ『日々の世界のつくりかた』<sup>1)</sup>やそれをもとにしたパターン・ソング「日々の世界」<sup>2)</sup>を作成してきました。

『日々の世界のつくりかた』では、子育てと仕事をしながら「日々の世界」をつくっていく秘訣を言語化しました。その冊子は、花王株式会社のホームページ「くらしの研究」<sup>3)</sup>で公開されていますので、ぜひご覧ください。また、それを歌にしたものがパターン・ソング「日々の世界」です。各種オンラインストアや音楽配信サイトで聴くことができますので、ぜひこちらもお楽しみください。

今回、『家族を育むスタイル・ランゲージ』では、どのような「日々の世界」をつくるのかということの発想の種として用いることができる、様々なスタイルを多様なかたちでまとめました。思いがけないような素敵なスタイルに出会うことで、家族とともに自分たちなりの「日々の世界」をつくっていくことの支援ができれば幸いです。



- 1) パターン・ランゲージ「日々の世界のつくりかた」について  
[http://www.kao.com/jp/corporate/news/2016/20161117\\_001/](http://www.kao.com/jp/corporate/news/2016/20161117_001/)  
[https://www.sfc.keio.ac.jp/doc/161111\\_PressRelease\\_final3.pdf](https://www.sfc.keio.ac.jp/doc/161111_PressRelease_final3.pdf)
- 2) 楽曲「日々の世界」について  
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000621.000009276.html>  
[http://www.kri.sfc.keio.ac.jp/ja/press\\_file/20170822\\_kao.pdf](http://www.kri.sfc.keio.ac.jp/ja/press_file/20170822_kao.pdf)
- 3) 冊子「日々の世界のつくりかた」のダウンロード  
<http://www.kao.co.jp/lifei/>

\*ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

慶應義塾大学 ORF 事務局  
TEL: 0466-49-3436 FAX: 0466-49-3494  
E-mail : [orf-info@sfc.keio.ac.jp](mailto:orf-info@sfc.keio.ac.jp)

※11月21日~23日につきましては、03-3403-8610までご連絡ください。

\*本リリースは新聞各紙社会部、web ニュース等に送信させていただいております。

### 【本リリースに関するお問い合わせ先】

慶應義塾大学 井庭崇研究室  
「家族を育むスタイル・ランゲージ - 日々の世界のつくりかた」プロジェクト  
E-mail : [hibinosekai@sfc.keio.ac.jp](mailto:hibinosekai@sfc.keio.ac.jp)

### 【配信元】

慶應義塾大学 湘南藤沢事務室学術研究支援担当  
TEL: 0466-49-3436 FAX: 0466-49-3494  
E-mail : [kri-pr@sfc.keio.ac.jp](mailto:kri-pr@sfc.keio.ac.jp)